

問1 「鈴屋（すずのや）」と呼ばれる書齋を構え、古典研究に没頭した人物に関する記述として、歴史的な事実と合致しないものを選びなさい。（2020年 鳥取公立入試 類似）

1. 中国から伝わった儒教こそが日本のあるべき姿であると説き、その道徳を広めることに尽力した。
2. 仏教や儒教などが伝来する以前の、日本固有の精神や文化を明らかにしようとした。
3. 約30年の歳月を費やして『古事記』を詳細に分析し、国学を体系的な学問へと発展させた。
4. この人物が示した考え方は、のちに幕末の志士たちの行動原理となる尊王攘夷思想に影響を与えた。

問2 親藩の中でも特に格式が高い尾張・紀伊・水戸の三家は「御三家」と呼ばれ、幕府の統治において特別な特権を持っていた。その特権の内容として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 福島県公立入試 類似）

1. 将軍の跡継ぎがない場合に、後継者を出すことができる権利。
2. 老中などの幕府の最高役職を独占し、政治の実権を握る権利。
3. 長崎での貿易を独占し、その利益をすべて家計に入れる権利。
4. 参勤交代を免除され、常に自領で政務を行うことができる権利。

問3 1603年に徳川家康が江戸幕府を開いたのち、幕府は大名を統制するために様々な法令や制度を整えました。二代将軍徳川秀忠の代に制定され、城の無断修理の禁止や、婚姻の許可制などを定めた法令の名称として、最も適切なものを選びなさい。（2016年 滋賀公立入試 類似）

1. 武家諸法度
2. 禁中並公家諸法度
3. 寺院諸法度
4. 慶安の御触書

問4 1603年に始まった江戸幕府の成立過程において、徳川家康が朝廷から「征夷大将軍」の役職を得たことの政治的な目的として、最も適切な説明を選びなさい。（2024年 長崎公立入試 類似）

1. 武士の棟梁（リーダー）としての正当性を得て、全国の諸大名を統制する権限を明確にするため。
2. 朝廷の持つ政治権限をすべて廃止し、天皇に代わって自らが新しい日本の国王になるため。
3. キリスト教の布教を全国的に認める代わりに、南蛮貿易の利益を独占する権利を得るため。
4. 参勤交代を制度化することで諸大名の財力を削り、幕府の財政を安定させるため。

問5 17世紀のイギリスにおいて、1688年に国王を追放して新たな国王を迎えた「名誉革命」の翌年、国王が議会の同意なしに法律の効力を停止したり、税を徴収したりすることを禁じる法律が制定されました。この法律の名称を、次のうちから選びなさい。（2018年 沖縄公立入試 類似）

1. 権利の章典
2. マグナ・カルタ
3. 独立宣言
4. フランス人権宣言

問6 江戸時代の幕府の対外政策と情報の管理について述べた次の説明のうち、正しいものはどれですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 幕府は下田の港を唯一の欧米窓口とし、海外からの情報を集約させた。
2. 長崎に来航するオランダ船から提出される文書を通じて、海外の情報を独占した。
3. 堺の商人を通じて南蛮貿易を継続し、カトリック諸国の情報入手し続けた。
4. 朝鮮との窓口である対馬を通じて、清やヨーロッパの情報を同時に収集した。

問7 江戸時代、薩摩藩は財政を立て直すために特定の産物の専売を強化しました。奄美大島などの島々で生産させ、藩が独占的に販売することで莫大な利益をもたらした産物は次のうちどれですか。（2026年 滋賀公立入試 類似）

1. 奄美大島などで生産された砂糖
2. 対馬などで生産された朝鮮人参
3. 長州で生産された紙やろう
4. 土佐で生産されたカツオの節

問8 江戸幕府が定めた武家諸法度において、大名が許可なく城を修理することや、大名同士が勝手に結婚することを禁止した主な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 岐阜公立入試 類似）

1. 大名が軍備を増強したり、有力な大名同士が結託して幕府に反抗したりすることを防ぐため
2. 全国の城の建築様式を統一することで、幕府の威光を視覚的に示すため
3. 参勤交代にかかる莫大な費用を確保させるため、私的な支出を制限させるため
4. キリスト教の布教を阻止するために、大名が宣教師と接触する機会を断つため

問9 18世紀後半、深刻な食料不足をもたらした天明のききんの後、老中の松平定信は「寛政の改革」に着手しました。この改革において、将来の飢饉や災害に備えるために大名や村々に米を蓄えさせた政策を何といいますか。（2021年 沖縄公立入試 類似）

1. 囲米
2. 上米の制
3. 七分積金
4. 旧里帰農令

## 答え合わせ・解説

|    |   |   |
|----|---|---|
| 問1 | <b>答え 1</b><br>中国から伝わった儒教こそが日本のあるべき姿であると説き、その道徳を広めることに尽力した。 | 「鈴屋」を拠点に活動した本居宣長が確立した「国学」は、儒教や仏教といった「外来の思想」を批判的に捉え、それらが伝わる前の日本本来の精神を追究することを目的としていました。したがって、儒教を肯定して広めようとしたという記述は誤りです。  |
| 問2 | <b>答え 1</b><br>将軍の跡継ぎがない場合に、後継者を出すことができる権利。                 | 御三家は徳川将軍家の血筋を絶やさないための安全装置としての役割を担っていました。実際に、2代将軍秀忠の血統が途絶えた際、紀伊徳川家から8代将軍吉宗が選ばれるなど、幕府の存続において極めて重要な地位を占めていました。なお、老中などの役職に就くのは主に譜代大名の役割でした。                                 |
| 問3 | <b>答え 1</b><br>武家諸法度  | 江戸幕府が全国の大名を統制し、軍事力を抑え込むために制定した法律です。文武の奨励といった道徳的な規定だけでなく、城の修繕を届け出制にしたり、無断での婚姻を禁止したりするなど、大名の行動を厳しく制限しました。のちに三代将軍徳川家光によって、参勤交代の規定が追加されるなど、時代に合わせて改訂が行われました。                |
| 問4 | <b>答え 1</b><br>武士の棟梁（リーダー）としての正当性を得て、全国の諸大名を統制する権限を明確にするため。 | 征夷大將軍は武士の頂点に立つ官職であり、この職に就くことは、全国の大名や武士を支配する公的な正当性を手に入れることを意味しました。徳川家康はこの役職を背景に、幕府による全国支配の仕組みを構築しました。参勤交代の制度化は、後の3代将軍家光の時代に行われた政策です。                                     |
| 問5 | <b>答え 1</b><br>権利の章典  | 1689年に制定された「権利の章典」は、議会の権限と国民の自由を成文化したものです。これにより、国王は議会の承認なしに政治を行うことができなくなり、イギリスにおける立憲君主制の基礎が確立されました。1642年から始まった清教徒（ピューリタン）革命に続く、イギリスの重要な市民革命の成果です。                       |
| 問6 | <b>答え 2</b><br>長崎に来航するオランダ船から提出される文書を通じて、海外の情報を独占した。        | 江戸幕府の対外窓口に関する記録では、欧米との唯一の窓口は長崎の出島でした。選択肢にある「下田」は、幕末の開国時に開港された場所であり、江戸時代を通じての情報独占の場所とは異なります。幕府はオランダから提供される情報によって、他藩に先んじて海外情勢を知る特権的な地位を維持していました。                          |
| 問7 | <b>答え 1</b><br>奄美大島などで生産された砂糖                               | 薩摩藩は琉球王国を通じて支配下に置いた奄美大島などの島々でサトウキビの栽培を奨励し、黒砂糖を生産させました。藩はこの砂糖を極めて安い価格で強制的に買い上げ、大坂などの市場で独占的に販売することで、藩の財政を劇的に改善させました。選択肢にある朝鮮人参は対馬藩、紙やろうは長州藩の主要な専売品です。                     |
| 問8 | <b>答え 1</b><br>大名が軍備を増強したり、有力な大名同士が結託して幕府に反抗したりすることを防ぐため    | 武家諸法度は、大名が軍事的な防衛拠点を強化することや、派閥を作って幕府の脅威になることを極端に警戒していました。特に無断での婚姻は、大名同士が姻戚関係を結んで強力な同盟を組むことを阻止する目的がありました。このように、経済力や軍事力を削ぐことで幕府の絶対的な優位を保とうとしました。                           |
| 問9 | <b>答え 1</b><br>凶米   | 18世紀後半に発生した天明のききんは、全国で多くの餓死者を出し、打ちこわしなどの社会不安を招きました。これを受けて松平定信は、非常時の食料確保を目的として、諸大名に石高1万石につき50石の米を蓄えさせる「凶米」を命じました。あわせて、町人に対しても町入用の節約分の7割を積み立てさせる「七分積金」を実施し、民衆の救済制度を整えました。 |